



「復興」「除染」元年として 村民皆様と一体となって

鯨川村議会議員 前田 三郎
Saburo MAEDA

新年明けましておめでとう
ございます。皆様には、健康
で希望に満ちた初春を迎えら
れましたことをご喜び申し上
げます。

昨年の3・11東日本大震災
は、太平洋沿岸を中心に未曾
有の被害を発生させ、人々を
震撼させた巨大地震でありま
した。本村では震度5弱が観
測され、道路の亀裂、住宅の
瓦屋根の損傷、墓石の倒壊な
ど被害が見られましたが、大
惨事には至りませんでした。
しかし、東京電力福島第一原
子力発電所の事故により放射

性物質が拡散したため、農畜
産物に被害が発生するなど、
私たちの暮らしや健康を脅か
すものとなっております。

村では、いち早く村地震災
害被災者住宅再建支援事業な
ど生活救済措置の実施や放射
能モニタリングによる農産物
の安全確保、校庭の表土除染
の対策など震災の補正予算を
編成し対策をとってきました。
日本経済は、大震災や急激
な円高の影響により多くの企
業が打撃を受け、世界的な不
況の中であえいでいます。
村では、ここ数年間、国の

経済対策交付金事業などを活
用し、失業者の雇用確保を始
め、村施設の改修・整備を先
取り的に行い、経済浮揚策と
しても役割を果たしてきまし
た。

昨年は、村民保養施設「さ
ぎり荘」の新装オープン、鹿
角平クロスカントリーコース
の完成、村農産物加工・直売
所「手・まめ・館」のパン工
房・喫茶店のオープンなど、
特色ある施設整備が行われ、
これにより6次産業化の推進、
中心部からの活性化の波状効
果、村内外の誘客などに一層

期待がかかっています。

昨年は統一地方選挙の年に
当たり、村議会議員の改選が
ありましたが議会活性化を図
り、皆様に開かれた議論の場
となるよう、議会運営を目指
していきます。

自立した村づくりのため、
第3次村振興計画の理念に基
づき、「まめで達者な村づく
り」を推進し、少子・高齢化
対策、農業、商工業の振興、
村の将来を担う子どもたちの
教育、バイオマスヴィレッジ
構想の「堆肥センター」の運
営など、これら山積みする課
題に執行機関とともに取り組
んでまいります。また、今年
は大震災、原発事故からの
「復興」「除染」元年として、
村民皆様と一体となり、難題
に立ち向かっていきたいと考
えます。

今年も皆様にとりまして、
良き一年でありますよう、ご
祈念申し上げます。あいなさつ
といたします。



大震災からの 早期復興を

鯨川村長 大楽 勝弘
Katsuhiko DAIRAKU

皆様には、輝かしい平成24年
を迎えられましたこと、心から
お喜びを申し上げます。村政に
対しまして、平素から多くの方々
にご参加いただき深く感謝を申
し上げます。

私たちの心に大きな傷跡を残
した千年に一度と言われる東日
本大震災から10か月を迎えよう
としています。地震で被害を受
けたほととはうす・さめがわ、
鹿角平観光牧場は復旧工事も終
わり営業を再開し、中学校の屋
内体育館についても間もなく利
用できるようになります。図書
館、西山体育館の復旧について
は、皆様にご不便をおかけしま

すが、また先になりそうであり
ます。今回の地震で瓦屋根の損
壊など民家にも被害を受け、村
では住宅再建支援補助事業を
実施していますが、資材や専門技
術職人の不足から年度内に工事
にとりかかれない方が数多くあ
るようであり、現在、繰り返し
手続を進めています。東京電
力の原発事故による放射能汚染
は、福島県民に大きな困難をも
たらしています。農作物を栽培
する上でも、それを販売し、自
分で食べる上でも心配はつきま
せん。事故当初は、村に検査機
器がなく県に送って検査してい
たため検査点数も限られていま

ましたが、10月に村で簡易検査機
器を購入しましたので、個人か
ら申し込みをとって検査を実施
しています。この結果は、キウ
イフルーツやブルーベリー、乾
燥しいたけ、乾燥いもがら、干
し柿など乾燥ものから放射能物
質が検出されていますが、暫定
基準値の100ベクレルよりか
なり低く、ほとんどの農作物は
検出限界値未満であります。米
についても福島市や伊達市で国
の検査の網の目をくぐりぬけて
汚染米がでていますが、本村で
は、現在（12月26日）でいま
せん。放射能の問題は、今後も
長びくことは覚悟する必要があります

りますし、村では検査機器を2
台追加購入し、3台で検査を実
施して参ります。皆様には、十
分な検査をして、安心なものを
食べていただきたいと思えます。

これまで村では、中山間事業
で田畑周辺の草刈りを実施して
いた。き、そして道路からはゴ
ミのないきれいな村づくりを進
めてまいりました。最上流部に
あるため、河川は自分たちが汚
さない限り田んぼにはきれいな
水を使うことができました。昨
年の3月11日以降、目に見えな
い放射能の汚染は本村にやっか
いな難題となりましたが、1日
も早く東日本大震災からの復興
を図り、安全で安心して暮らせ
る村、人が集まる魅力ある村づ
くりのために、これまでにも増
して努力して参りますので、皆
様方の積極的なご提案、ご協力
をお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして最良
の年になりますことをご祈念申
し上げ、年頭のごあいさつとい
たします。



鹿角平観光牧場